



弊社ホームページに「パワーモラ選定サービス」を用意しております。(詳細は本紙P.12をご参照)

イントロ  
ダクション

MDR

モジュール  
ユニット

資料

LS  
シリーズ

FE  
シリーズ

VE  
シリーズ

FP  
シリーズ

XE:XP  
シリーズ

KT  
シリーズ

テーパ  
シリーズ

HS  
シリーズ

各種  
オプション

専用  
ドライバ

その他  
アクセサリ

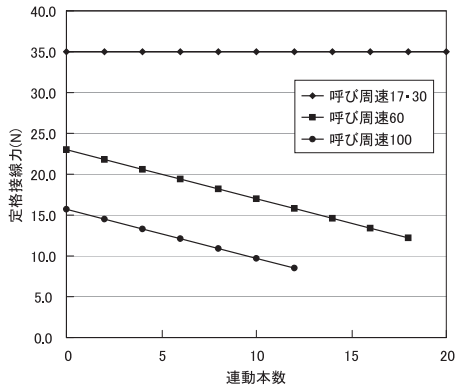
選定方法

配線図

取付方法

電源器の  
選定

▼PM570XP 2溝丸溝パイプ仕様



■設計上のご注意

以下の数値およびグラフは特に記載がない限り、標準品（各種仕様を含まないもの）で測定しております。各種仕様の追加によっては数値が変動するものがありますのでご了承ください。

1 拘束

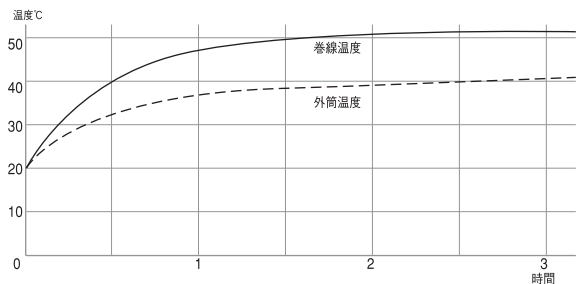
パワーモラは、万一通電状態でロックされてもモータドライバの電流制限、モータ保護装置によりモータコイルが焼損する心配はありません。しかしながら、繰返し拘束（ロック）されるとモータコイルの温度上昇により、徐々に絶縁が劣化してモータ焼損の原因になります。拘束（ロック）状態が繰返し発生する場合はスイッチを切る制御にしてください。

2 温度上昇

パワーモラの使用可能周囲温度は0℃～+40℃です。

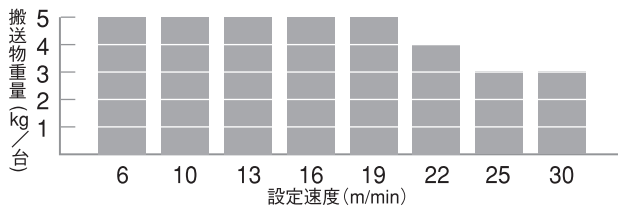
注) 周囲温度によりパワーモラの設定速度までの立ち上がり時間が異なります。

▼PM486FE温度特性 (PM486FE-15-400-D-024) (室温20℃)



搬送能力

▼PM320HS



・上記グラフは水平分散荷重時の搬送能力を表しています

—ベルトコンベヤ搬送条件(mm)—

